

学校目標	重点目標 (中・長期的目標)			
1 学び究めようと する心の涵養に努 める 2 責任ある社会人 になるための人間 性の陶冶を促す 3 心身共に活力の みなぎる生徒を育 む 4 生命を尊び人権 を尊重する心を培 う	1 基礎学力を身につける 社会で生きていくための基礎的な知識を、座学だけでなく体験的な課題追究型学習を通して身につくようにする 2 社会性を身につける 基本的生活習慣や社会のルールを、学校生活や就労を通して会得できるようにする。また学校行事・生徒会活動などを 通じて、友人との協力・共同を培い、友情を深めることができるようにする 3 自主性を高め、自己表現を豊かにする 総合的な探究の時間や生徒会活動・学校行事などを通して、思考力・表現力を養い、意欲・成就感が得られるように努め、 自信を持って歩めるようにする。また自分の将来を見つめながら自己啓発につながる進路指導に配慮するとともに、芸術鑑賞 などを通して豊かな情操感を培うように配慮する			
今年度の重点目標				
1 いじめや暴力を許さない安全・安心な学校づくりを進める 2 基本的生活習慣の確立、規範意識の向上を目指し、きめ細やかな生徒指導や支援を行う 3 対話的な授業を通して、生徒の学習意欲を引き出し、基礎学力の定着とコミュニケーション能力の育成を図る 4 勤労観・職業観の形成を促すとともに生徒個々に応じた支援を行い、進路に対する意識を高めていく				
評価項目	評価の観点	成果と課題	達成度	改善策・向上策
1 ICT活用	① 生徒一人一台タブレットの活 用方法の研修と実践が行われ たか	① 今年度は特別活動やHR活動などでもタブレットの活用 できるようにCANVA等の研修を個々行った。また各 教科では、それぞれの特性を生かした活用をした。	A	① 研修で学んだことを積極的 に取り入れ、タブレットを 利用した授業方法を更に研 究していく。
2 授業の充実	① 個々に応じた有効な対応がな されたか ② 総合的な探究の時間を中心に 表現力、コミュニケーション 能力等、社会で必要とされる 力を伸ばす授業がなされたか ③ 特別な支援が必要な場合につ いて、授業方法等に関する研 究や、必要な支援がなされた か	① 多くの授業において、ドリルや補足資料、生徒に合った プリントを使い、生徒主体の授業を行った。 ② 自己表現の場として、校内生活体験発表会で発表した。 12月には、プレゼンテーション能力を身に付ける目的 で、課題研究発表会を行う予定。3年生は教養基礎の授 業でコミュニケーション能力を伸ばすため、外部講師に よる出前授業を行った。 ③ 生徒理解のための情報交換を年度当初及び職員会議ごと に実施し、全職員が共通理解を持って授業や生徒対応を 行った。また、地域の発達障がいサポートマネー ジャー・養護学校の教育相談担当教諭・自治体の家庭児 童相談員と連絡会を実施し、特に1年生の対応に生かせ た。	B A A	① 個々に適した学習教材の研 究を進めていく。 ② 多くの生徒が発表できる工 夫を行い、外部講師などと 連携して更に表現力を身に つけさせる機会をつくる。 ③ 情報交換は年度当初や職員 会以外にも、必要に応じて 随時実施していく。

<p>3 生徒支援体制の充実</p>	<p>① 出欠席をはじめ、生徒の日常生活を把握し、保護者とも連携して必要な対応がなされたか</p> <p>② 生徒個々の状態を把握し、カウンセリングや外部機関との連携を行って早期の対応が図れたか</p> <p>③ 行事、生徒会活動、クラブ等の際に、生徒の自主性を高め、生徒に成就感や自信を待たせるような工夫がなされたか</p> <p>④ 多様な生徒に対応するための研修・研究や、日常的な支援がなされたか</p>	<p>① 毎時間の出欠は入力システムにより、欠時数の把握を行い、担任から保護者への連絡も即座に行われた。</p> <p>② 必要に応じて情報共有を行い、生徒個々の理解につとめた。通常のカウンセリングの他に、スクールカウンセラーには5月と1月に1年生全員と面談してもらい、生徒の状況を把握できた。出身中学校や家庭児童相談員と随時情報共有を行い、対応・支援に生かされた。毎月2名のスクールソーシャルワーカーによる巡回相談を行い、助言を受けることができた。</p> <p>③ 文化祭では生徒アンケートに基づき、テーマ・制作内容を決め、生徒全員が参加し、「ステンドグラス風切り絵」を制作・展示することができた。学習成果発表として、3、4年生は美術の授業で描いた石膏静物デッサンを展示した。3年生の環境科学ではビオトープの観察記録、スケッチの展示をした。4年生はSDGsをテーマにしたポスターを制作し、展示した。芸術表現部は文化祭で日頃のデッサンの成果を展示した。バドミントン部は北信越大会、全国大会に出場し、北信越大会2位、全国大会3位となった。</p> <p>④ スクールソーシャルワーカー、子ども相談室・福祉課(中野市・須坂市・山ノ内町)、障がい者支援センター(中野市・須坂市)と連携ができています。また、6月と1月に全生徒へのアセス調査を実施し、その結果を職員間で共有した。12月には職員研修として中野市内の就労支援事業所の見学を行った。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>① 今後も保護者への連絡が即座に行えるように継続していく。</p> <p>② カウンセリングのコンサルテーションは可能な限り担任も同席する。外部機関とは問題が生じた時だけでなく随時連絡を取り合い、早目の対応ができるようにしておく。</p> <p>③ 今後も生徒の自主性を高める工夫を重ね、活気ある生徒会活動を目指していく。部活動への取り組みを呼びかけていく。</p> <p>④ 今後も年に1回は職員研修の機会を設けていく。SSWや市町村・関係機関との情報交換を続けていく。</p>
<p>4 進路実現 ・キャリア教育</p>	<p>① 生徒の進路実現のために校内進路検討会等で情報共有がなされ、全職員体制で個々の生徒に応じた支援ができたか</p>	<p>① 校内進路検討会議を実施し、全職員で生徒の進路希望を把握し、情報共有を図った。就職希望者には職員全員で分担して面接練習を行って就職試験に臨ませた。進学希望者にも進学先の傾向に応じて個別に指導を行った。</p>	<p>B</p>	<p>① 全職員によりそれぞれの機会を通して生徒に進路意識の高揚を図るとともに、就業体験活動や体験入学への参加を呼びかけていく。</p>

<p>4 進路実現 ・キャリア教育</p>	<p>② ハローワーク、就業支援センター等外部の関係機関と適切に連携をはかることができたか</p> <p>③ 生徒への進路指導に資するために、職員の進路研修・研究に取り組むことができたか</p>	<p>② ハローワーク主催の企業見学への参加や教養基礎の授業や就職希望者の模擬面接指導において就業支援地域アドバイザーによる出前講座や業者による講座を活用し、職業観の形成や就職の内定に結びつけることができた。企業見学等への対応には課題が残った。</p> <p>③ 2月に校内進路研修会を開催。現2年生の進路活動のスタートにつなぐ。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>② 引き続き、外部講師等を有効活用し成果につなげていくとともに、学校が主体となり、就職希望者は企業見学会に全員参加とし、全職員で面接指導をさらに充実させる。組織的な指導体制で臨むことが必要である。</p> <p>③ 支援を要する生徒への進路指導について引き続き研修を重ねていく。</p>
<p>5 人権尊重</p>	<p>① いじめについて実態を把握し、適切な対応がなされたか</p> <p>② 人権意識を高めるための取り組みができたか</p>	<p>① アンケートを6月と1月に実施するとともに、スマートフォン(SNS)による誹謗中傷について、情報モラル学習を通じて注意喚起を行った。</p> <p>② 人権平和学習として、武井美千代さんを招いて講演会を実施し、命の尊さについて考えさせる機会を持った。</p>	<p>B</p> <p>A</p>	<p>① 今後もアンケートを継続し、いじめの早期発見・対応に生かす。</p> <p>② 今後も年間を通して様々な場面で取り組んでいく。</p>
<p>6 地域との連携</p>	<p>① 地域の方に本校教育活動の実態を理解していただけるよう、学校の公開等を随時行うことができたか</p> <p>② HP、学校案内等により、適切な情報提供に努めることができたか</p>	<p>① 学校公開授業は年3回計画をした。4月は在校生の保護者の参観、9月は中学生と在校生の保護者の参観、11月には中学生とその保護者対象の学校見学会を行った。</p> <p>② HPは行事のあるたびに更新して常に新しい情報を提供し、行事等の写真を掲載している。学校案内も早めに作成して情報提供をした。</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>① 中学生の参観者が増加した。引き続き随時公開していく。</p> <p>② 引き続き、常にHPを最新の情報を提供できるようにしていく。</p>
<p>7 安全安心な学校環境の維持</p>	<p>① 生徒が安心して学べる環境を維持するための検討がなされたか</p>	<p>① 4月に地震想定避難訓練、9月に地震・火災想定し、実際に電気を消し、暗闇の中での訓練を実施した。</p>	<p>A</p>	<p>① 生徒の防災意識をより高める避難訓練を2回実施する。</p>
<p>総合評価</p>		<p>多様な生徒に対して少人数制の授業や個別指導を行い、一定の成果が得られた。 学校カウンセラー、SSW、生活支援相談員、市の保健師、外部講師などとの連携によって、進路や生活面での支援が充実できた。 長野商業高校定時制の視察を行い、単位制導入に向けて充実した研修会ができた。</p>	<p>A</p>	<p>生徒の現状を考えた教育課程を研究し、単位制の検討をしていく。 引き続き、外部の関係機関との連携を強化して、生徒支援体制を充実していく。</p>